

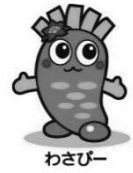


# おくたま

第205号

令和5年5月5日発行

# 町議会だより



原島 匠・書

編集・発行 奥多摩町議会 電話 0428-83-2302(直通) 奥多摩町ホームページ <https://www.town.okutama.tokyo.jp/>

## 第1回定例町議会

第1回定例会は、3月3日から3月16日までの、会期14日間にわたり開催されました。

## 令和5年度予算

令和5年度の各会計予算は、本会議第2日に提案され、議長を除く11名で構成する予算特別委員会に審査が付託されました。3月10日、14日の2日間において開会された予算特別委員会、内容説明、質疑等が行われ、16日の本会議で採決の結果、次の全8会計とも全議員の賛成により可決されました。

- 議案第18号 一般会計
- 議案第19号 都民の森管理運営事業特別会計

○議案第20号

山のふるさと村管理運営事業特別会計

○議案第21号

国民健康保険特別会計

○議案第22号

後期高齢者医療特別会計

○議案第23号

介護保険特別会計

○議案第24号

下水道事業特別会計

○議案第25号

国民健康保険病院事業会計

## 予算特別委員会質疑

○一般会計

歳入

- ・固定資産税現年課税の家屋分における空き家及び別荘の件数
- ・鉦産税収入見込み
- ・道路及び河川使用料の内容
- ・空き家対策総合支援事業補助金の内容
- ・受験生チャレンジ支援貸付窓

歳出

- ・道路反射鏡設置工事の内容
- ・大学連携事業費の内容
- ・第6期長期総合計画策定業務委託の内容
- ・旧地上権貸地料等の内容及び地上権の現在の状況
- ・情報セキュリティポリシー作成支援業務委託の内容
- ・マイナポイント申込支援業務委託の内容

口運営事業補助金の利用状況

・介護予防サービス計画介護報酬の前年度実績

・小学校管理費、電子黒板の内容

・森林環境整備事業の内容

・公共施設調整交付金(一般財源分)の内容

・搬出困難箇所森林整備事業費の内容

・人権啓発活動活性化事業委託金の内容

・河川等清掃委託金の内容

・町民税の内容

・法人事業税交付金の収入見込み

・臨時財政対策債の内容

- ・人権メッセーじ発表会の内容
- ・バス路線維持対策費補助金の内容
- ・健康増進法保健事業費、検診等受診状況及び効果
- ・筋力向上トレーニング施設事業費の内容
- ・シニア筋トレルームにつぐ里利用者対象年齢拡充について
- ・骨密度測定検査委託の内容及び筋力トレーニングの効果について
- ・環境基本計画改定業務委託の内容
- ・外出支援サービス事業送迎車の内容
- ・シルバー人材センター補助事業費、インボイス制度導入について
- ・自殺対策事業費、パンフレット配布における効果について
- ・不法投棄廃タイヤ等処理委託の内容
- ・成年後見推進機関運営委託の内容
- ・山葵苗購入費補助金の内容及び栽培支援について
- ・国有農地管理費の内容
- ・観光施設補修工事、もえぎの湯改修工事及び氷川駐車場消防設備改修工事の各工事費用額と内容
- ・氷川及び川井キャンプ場トイレ改修設計委託の内容
- ・森林セラピー推進団体補助金の内容
- ・ねねんぼう建築設備定期検査等報告業務委託、営業状況について
- ・白丸観光駐車場夜間閉鎖業務委託の内容
- ・消防団費、消防団定年制度及び退団時の報酬について
- ・準要保護等児童就学援助事業費の内容
- ・防災倉庫設置工事の内容及び倉庫内常備内容の表示について
- ・消防団詰所等維持補修工事の内容
- ・外国語指導委託の内容
- ・小学校費、創立150周年記念事業謝礼の内容
- ・氷川小学校管理費、体育事業（プール）バス賃借料の内容及びプール廃止理由と跡地利

用について

- ・森林館改修工事の内容及び今後の事業について
- 山のふるさと村管理運営事業特別会計
- ・広告掲載料の内容
- 国民健康保険特別会計
- ・出産育児一時金の内容
- 下水道事業特別会計
- ・奥多摩処理区監視システム更新整備委託の内容及び監視システムについて

**その他の町長提出議案と結果**

次の議案が提出され、いずれも賛成多数により、原案のとおり可決されました。

【 条 例 】

- 議案第1号 奥多摩町個人情報保護法施行条例
- 議案第2号 奥多摩町情報公開条例
- 議案第3号

個人情報の保護に関する法律の改正に伴う関係条例の整理に関する条例

- 議案第4号 地方公務員法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例
- 議案第5号 奥多摩町職員の定年等に関する条例の一部を改正する条例
- 議案第6号 奥多摩町一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例
- 議案第7号 奥多摩町消防団員の定員、任免、服務等に関する条例の一部を改正する条例
- 議案第26号 奥多摩町情報公開・個人情報保護審査会条例

【 町道路線の認定 】

- 議案第8号 松葉東線延長146・70m

【指定管理者の指定】

○議案第9号

鳩の巣荘の指定管理者の指定について

○議案第15号

介護保険特別会計(第2号)

○議案第16号

下水道事業特別会計(第2号)

○議案第17号

国民健康保険病院事業会計(第2号)

【人事】

○議案第10号

奥多摩町教育委員会委員の任命の同意を求めることについて

武本 正明氏(新任)

(小丹波在住)

【令和4年度補正予算】

○議案第11号

一般会計(第4号)

○議案第12号

山のふるさと村管理運営事業特別会計(第2号)

○議案第13号

国民健康保険特別会計(第2号)

○議案第14号

後期高齢者医療特別会計(第2号)

陳情の取扱い

審議されたのは、陳情1件で、次のように決定しました。

【趣旨採択としたもの】

○陳情第1号

消費税・適格請求書等保存方式(インボイス制度)の導入延期を働きかける国への意見書提出を求める陳情書

議員提出議案

次の議案が提出され全議員の賛成により可決されました。

○議員提出議案第1号  
奥多摩町議会の個人情報保護に関する条例

賛否の分かれた議案 注意:「議案第1号」は町長提出議案「奥多摩町個人情報保護法施行条例」

12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	議席番号
原島 幸次	高橋 邦男	宮野 亨	石田 芳英	小峰 陽一	澤本 幹男	大澤 由香里	木村 圭	小山 辰美	相田 恵美子	森田 紀子	伊藤 英人	議員名
○	※	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	議案番号
○	※	○	○	○	○	×	○	○	×	×	○	議案第1号
												陳情第1号

※議長は、裁決に加わらないが賛否同数の場合は議長が決裁します。  
陳情第1号については、経済厚生常任委員会にて「趣旨採択すべきもの」と決定し本会議 3日(3月9日)に「趣旨採択」とすることに賛成か反対の採決を諮りました。  
【賛成・・・○ 反対・・・×】

次回6月第2回定例会日程(予定)

議会運営委員会 6月 2日(金)  
本会議 6月 9日(金)  
一般質問 13日(火)  
陳情受付期間 15日(木)  
5月25日(木)までに直接お持ちください。  
会議の予定は変更になる場合があります。詳細は、下記までお問い合わせください。

問い合わせ 議会事務局  
☎0428(83)2302(直通)

請願・陳情は!

6月定例会では、5月25日までに受理したものを審議します。それ以降の受付の場合は、次回定例会で審議することになります。提出する際は、次のことにご注意ください。

- ① 請願には必ず1人以上の紹介議員が必要で、(陳情は不要です)
- ② 請願・陳情者は、住所・氏名・電話番号を必ず記載し、署名(記名の場合は押印)してください。
- ③ 提出は議会事務局へご持参ください。(郵送不可)
- ④ 詳しいことは議会事務局にお問い合わせください。

# 一般質問

- 宮野 亨議員(4ページ)
  - ・帯状疱疹予防接種費用の公費助成を
  - ・環境浄化木のヒマラヤザクラについて
  - ・不法投棄等のごみ処理費用について
- 澤本 幹男議員(5ページ)
  - ・奥多摩町地域応援券事業について
  - ・新型コロナウイルス感染症法上5類移行への対応について
- 石田 芳英議員(5ページ)
  - ・令和5年度東京都新規事業予算の町への取り込みについて
- 木村 圭議員(6ページ)
  - ・町所有土地・建物の有効活用について
  - ・奥多摩吹奏楽団に対する支援について
- 原島 幸次議員(6ページ)
  - ・「多摩川南岸道路」早期全面開通に向けて町の対応と今後について
- 小山 辰美議員(7ページ)
  - ・子ども達の体力について(II)
- 小峰 陽一議員(7ページ)
  - ・施政方針について

令和5年第1回定例会では、11名の議員が一般質問を行いました。ここでは、紙面の都合により、内容を要約して質問者順に掲載しています。質問・答弁の全文は、5月中旬頃より、ホームページで閲覧できます。(町ホームページ～町議会～会議記録(結果))

ホームページは、スマートフォン・タブレット端末等でもご覧いただけます。また、町立図書館でも会議録をご覧いただけます。



- 相田恵美子議員(8ページ)
  - ・施政方針について
  - ・成年後見制度の現状について
- 伊藤 英人議員(8ページ)
  - ・医療的ケア児支援法について
  - ・保育園のおむつ持ち帰りについて
  - ・町有地取得に伴うJR奥多摩駅ホーム直線化の提案
- 森田 紀子議員(9ページ)
  - ・こども基本法について
  - ・電気料の高騰について
- 大澤由香里議員(9ページ)
  - ・施政方針について
  - ・観光ゴミ対策について



宮野 亨 議員  
明党  
みやの 宮野

**問**

- 1 帯状疱疹予防接種費用の公費助成を
- 2 環境浄化木のヒマラヤザクラについて
- 3 不法投棄等のごみ処理費用について

**答**

- 1 早期実施に向け検討を進める
- 2 外来種等は対象外
- 3 町の負担軽減・費用負担のあり方を研究

**質問1** 東京都は令和5年度予算案で帯状疱疹ワクチン接種費を助成する市区町村への補助事業を実施している。町でも公費助成を。

**質問2** 二酸化炭素の吸収力が杉の50倍とされる環境浄化木のヒマラヤザクラを自治会への供給木と伐採後の植樹木に。**質問3** 不法投棄等のごみ処理費用について。

**町長1** 二次医療圏である西多摩8市町村の状況を確認したところ、檜原村では昨年4月から村独自に接種費用の補助を開始。今般の都補助実施予定を受け、4市2町すべてが実施を検討するとしている。当町の高齢化状況からすると、帯状疱疹ワクチンの予防接種を推進することで、発症に伴う医療費削減にもつながることから、都の補助事業を活用し、令和5年度以降、より早期に実施するよう具体的に検討を進める。**町長2** 供給樹種は、東京都の公共工事・公共事

業で用いられる樹種が基本である。また、ヒマラヤザクラは流通量が少なく取り扱うことは難しい。杉・檜の伐採後の植樹木の樹種については、郷土樹種を踏まえた広葉樹を推奨しており外来種は対象外。**町長3** 町の不法投棄については環境保全員などからの情報提供で除去活動をし、必ず警察に通報し原因者特定に努め厳しく対応。ボランティア清掃について、清掃活動の実回数が増加。町内外の皆様にご感謝する。処理費用について町予算の清掃費で対応。国立公園の清掃・美化の観点からみると、環境省において国庫補助金の交付対象として助成されること望ましいが、現行制度の規定により廃棄物の処理費用は補助金の交付は見込めない状況である。不法投棄に係るごみ処理費用については、町の負担軽減・費用負担のあり方について研究していく。



自民党 清水新会  
さわもと みきお  
澤本 幹 議員

問 1 奥多摩町地域応援券事業について  
2 新型コロナウイルス感染症法上5類移行への対応について

答 1 3年間で総額2億円が町内で消費された  
2 5類移行後も引続き感染予防・防止を図る

質問1 令和4年度で奥多摩町地域応援券事業は3年連続となり、町民が町内で買い物や食事をして地域応援券加盟店の事業所も大変感謝している。以下、問う。

- ① 飲食店券を共通券に変更する理由
  - ② 3年間事業を実施した内容分析
  - ③ 今後この事業を行う時の注意点
- 質問2 今年の5月8日から新型コロナウイルスの感染症法上の分類が「2類」から「5類」に変更になる。「5類」に移行すると社会経済活動の制限が大幅に緩和される。感染者は指定の「発熱外来」の病院ではなく一般病院での受診となる。マスク着用も個人の判断となる。社会全体が新型コロナウイルス流行前に戻ることは良いことだが、町は「5類」移行にどう対応するのか問う。
- ① 高齢者や特養等への予防と対策は
  - ② 医療機関の対応はどう変わるのか
  - ③ 公費のワクチン接種等の医療費は

町長1 ① 地域応援券の使用期間に新型コロナウイルスの感染拡大と地域に飲食店がない高齢者は利用が難しいとの声があった。

② 住民からの請求形式から手間を省いて直接配布する形式とした。換金率も非常に高く3年間で約2億円のお金が町内で消費された。

③ この事業は国や都の交付金がない場合、町単独実施は難しい。

町長2 ① 町は「5類」移行後も引続き感染の状況に応じて医療機関と特養老人ホーム等と情報共有を行い万一の拡大時にはこれまでと同様に感染予防・感染拡大防止を図る。

② 奥多摩病院では当面、現在と同様に発熱外来を設置して対応する。院内はマスク着用とし、引続き入院患者との面会は控えて頂く。

③ 4月以降も町内医療機関での個別接種体制を確保する。公費負担は国や都の方針が決定次第周知する。



都民ファーストの会  
いしだ よしひで  
石田 芳英 議員

問 令和5年度東京都新規事業予算の町への取り込みについて

答 補正予算計上など今後の状況を見ながら検討していきたい

質問 令和5年度の東京都予算が公表され、その中で多くの新規事業の策定と予算計上がなされている。奥多摩町においても有効な新規事業が多く含まれていると考える。例えば

- ① 多摩・島しょ暮らし体験ツアー
- ② 島しょ山村地域における移住体験住宅整備補助
- ③ 多摩・島しょアドベンチャーーツーリズム推進事業
- ④ 区市町村災害対応力向上支援事業
- ⑤ ウッドショック対策プロジェクト
- ⑥ 区市町村における新庁舎建設等を契機としたDX推進事業
- ⑦ アニメ等拠点の整備・運営事業
- ⑧ パフォーミングアーツ助成事業などが見受けられた。

以下質問する。

① 令和5年度東京都新規事業予算に対して、町への取り込みについて基本的な考えを問う。

② 右記8点の例示挙げた東京都の新規事業についての考えは。

町長 ① 東京都令和5年度一般会計

の中で新規事業として計上された予算も数多くあるが、町にとって東京都の予算は重要な財源である。このため新規予算であるか否かに係わらず、町の事務事業に資する予算等であれば取り込んでいきたい。

② 8項目の新規事業予算を挙げていますが、予算編成時期の兼ね合いもあり町当初予算には現時点で計上していない。ただし①多摩・島しょ暮らし体験ツアーについては、今日、事業の詳細等を確認していく中で、町として対応できる部分は、東京都とタイアップし、④区市町村災害対応力向上支援事業については、町単独の防災費事業として計上してあるが補助率2分の1で対象事業となる見込みがあり、今後、東京都に確認し、補正予算に計上していく。この他の事業についても今後の状況を見ながら検討していきたい。



自民党清新会  
きむら けんじ 議員  
木村 圭

問 1 町所有土地・建物の有効活用について  
2 奥多摩吹奏楽団に対する支援について

答 1 公共施設等総合管理計画の一部見直しを図る予定  
2 引続き文化団体連盟加入団体と同様に支援する

質問1 町所有の土地・建物が利用されずに放置されていないか、総点検をして、町有財産の利活用に取り組みを専門とする若者が町内の空家活用に取組みたいと訪れたが、少しの情報しか得られず、残念がっていた。以下質問する。①利用のない町所有の土地・建物、上位5件は②この5件の利活用計画は③意欲のある人材を町の事業展開に活用できないか

質問2 奥多摩吹奏楽団は瑞穂ビュースパークで素晴らしい演奏会を行った。町民の誇れる新しい文化芸術団体の一つである。町の評価及び今後どのような支援をしていくのか。  
町長 ①② 土地 ① 小丹波字寸庭平の山林は日照権の関係で樹木を伐採して、サクラ、モミジ、ツツジを植栽し道休息用東屋が建っている状況  
③ 境字水根のダム下は資材置き場

に活用④ 川井字蟬沢は広さ約2.3万㎡で、その内800㎡を残土処分場として使用⑤ 棚沢字坂下平は現在利用されていないが、建物① 棚沢字中曾根の住宅及び敷地と同じ坂下地内であり、将来住宅関連用地として検討② 棚沢字足ヶ谷戸で、国道の拡幅等に資する用地③ 棚沢字大橋、旧一心亭で建物の利活用は難しいため、町道整備を含め検討④ 原字日村の旧レイクサイドは引き続き利活用を検討⑤ 南氷川の旧りそな銀行は耐震化の対象であり検討、令和5年度、公共施設等総合管理計画の一部見直しを図る予定③ 奥多摩町定住促進サポート事業支援金交付要綱を制定しており、町へ移住して起業した方に対し支援金最大100万円を交付している。教育長町にとって、非常に有益な団体と認識している。引き続き文化団体連盟の加入団体と同様に支援する。



自民党清新会  
はらしま ゆきつぐ 議員  
原島 幸次

問 「多摩川南岸道路」早期全面開通に向けて町の対応と今後について

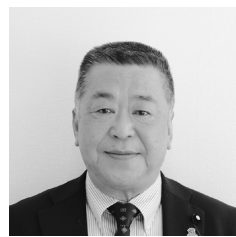
答 早期完成を目指し、都知事、各局幹部及び都議会に対し要望していく

質問 「多摩川南岸道路」は、総延長7.0kmで平成5年に工事着手、平成13年5月に琴浦の愛宕大橋から長畑までの愛宕トンネルが開通、平成27年5月に海沢から棚沢住安土(すまいど)間の城山トンネル2.8kmが開通し、全体の70%が完成した。

観光シーズンの土、日、休日には将門の信号から古里駅前交差点までの間交通が混雑し、地域の日常生活、産業活動に影響を及ぼしている。「多摩川南岸道路」は、棚沢住安戸地区から丹三郎地区まで残り1.9kmとなり、7年経過しているが工事の計画に進捗がないように思われる。今現在どのような状況にあるのか、早期の全面開通に向け町は、どのような対応を考えているのか。東京都に対しての町の対応は。  
町長 今後、「多摩川南岸道路」が全線開通した暁には、地域防災力の向上や、移動時間の短縮が図れると



もに、この「命の道」の整備により、災害時の「孤立化防止」あるいは「過疎化」や「高齢化」が進む町の「安全・安心」な町づくりが大きく寄与するものと考えている。町では、「多摩川南岸道路」の早期完成を目指し、東京都町村会並びに東京都町村議会議長会合同で、毎年、都知事、各局幹部及び都議会に対し、「東京都予算編成に対する要望」により実行運動を実施するとともに、「西多摩建設事務所・奥多摩町建設行政連絡会」においても継続して早期全面開通の要望を行なっていく。



山なみ会  
こやま たつみ  
小山 辰美議員

問 子ども達の体力について(II)

答 引き続き体力向上の取り組みを行う

**質問**全国体力テストの、令和4年の調査では東京都の小学5年生男子、女子いずれも全国平均をわずかに超え、中学2年生では男子、女子とも下回ったことがスポーツ庁の集計でわかった。令和2年第3回定例会で「子ども達の体力について」質問をし、当時、教育長の答弁で授業以外での運動時間の減少、スマートフォンの使用の増加、朝食を食べない児童の増加等があげられた。対策として学校における生活指導や、体育授業、部活動、スポーツイベントを通じて生活習慣の改善と体力向上に努めると答弁があった。しかし、令和4年の東京都の全国体力テストの結果が向上していない。現在どのような取り組みを行っているのか、また、今後の取り組みを問う。

4年生が東京都平均を上回り、中学生は一部種目を除き東京都の平均を上回っている。現在の取り組みは、古里小では行進指導、縄跳び、運動遊び、持久走等々に取り組み、また、年間を通じて長縄跳びにチャレンジしている。令和3年度には「子供体力向上推進優秀校」として東京都教育委員会から表彰されている。氷川小では全学級が休み時間等に長縄跳びを行い体育集会では長縄跳びの記録会を行った。その他に、全校ロング遊び、鬼ごっこやドッジボールなどの外遊びを行った。奥多摩中では体幹トレーニング、筋力トレーニング、また体育大会に向けた自主的な取り組みとして、ダンス、ブロックごとの集団創作活動を行った。今後の取り組みとして児童生徒が運動やスポーツを楽しめる環境づくりなど、引き続き学校での体力向上の取り組みを行う。



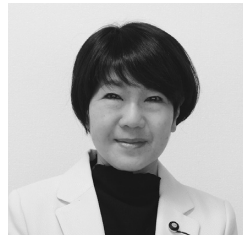
自民党清新会  
こみね こういち  
小峰 陽一議員

問 施政方針について

答 引き続き業務を推進していく

**質問**本年3月3日に発表された施政方針について問う。1.放課後居場所づくりとは。放課後子供教室委託事業との関連はあるのか。2.観光産業課へ自然公園担当課長を配置するが具体的な目的は何か。3.町営住宅について①町営住宅の入居状況は。②今年度の住宅建設予定は。③移住等の問い合わせや移住希望の状況は。④近隣自治体の令和5年度予算をみると、移住、定住対策や子育て支援予算を計上。これらに対抗する政策が必要と思うが。4.町内における新型コロナウイルス感染者は減少傾向にあるが、令和4年9月末から本年2月までの感染者数は107名で実に高齢者が97%を占めている。高齢者の感染予防対策を見直す必要あり。亡くなった方の事後処理費用が高額のため、補助できないか。5.令和3年6月より「可燃ごみ10%減量化大作戦」の成果は。

**町長**1.国が新放課後子ども総合プランにおいて推進する学童クラブ事業と放課後子供教室との連携により一体的に実施するもの。2.観光産業課内に山のふるさと村と都民の森を管理する自然公園施設担当課長を配置し積極的かつ一体的に運営する。3.町営住宅について①128戸のうち12戸が入居者なし。②子育て応援住宅1戸、町営若者住宅1戸を予定。③移住希望の問い合わせ約1291件、登録バンク登録者は累計523世帯1610人④ハード面、ソフト面のバランスを取り事業を推進。4.全感染者は4類型を含め210名で60代以上は48%、引き続き感染予防を講じる。厚生労働省のガイドライン見直しを踏まえ現時点において事後処理費用を補助することは難しい。5.令和3年度の総排出量1783tで前年度比71tの減。引き続きPRをし、減量を推進していく。



会  
の  
ジュマルガ  
の  
みこ  
あいだえみこ  
相田恵美子議員

問 成年後見制度の現状について

答 令和5年度「成年後見制度推進機関」を設置

**質問** 成年後見制度とは、認知症や知的障害、精神障害などの理由で判断能力が不十分な方々を保護し、支援する制度である。法定後見制度と任意後見制度があり、法定後見制度には後見、保佐、補助の3つがあり、判断能力に応じて制度が利用できる。高齢者が人口の半数を超える当町では今後、成年後見制度の必要性が問われてくる。昨年、第2期成年後見制度利用促進基本計画が閣議決定したが、町の現状は。①現在、成年後見制度を利用しての方の人数と成年後見制度利用支援事業を利用しての方の人数は。②住民への周知は。③今後、利用促進のための取り組みは。

**町長** 平成18年に奥多摩町成年後見制度利用支援事業実施要綱を制定した。親族等がない場合の町長申立てのほか、親族または本人による申立てはできるものの、経済的な理由により、成年後見制度が利用できない場合における申立費用や、後見等の開始後に必要な成年後見人等に対する報酬等の費用を町が全額負担するものである。①後見制度利用者は令和3年12月末現在で67名。同制度の利用支援事業の利用者は令和4年度は1名である。②パンフレットによる活用の周知、町ホームページへの常時掲載、町広報での定期的掲載、「地域包括支援センターだより」で広く周知を図っている。司法書士による「相続・成年後見相談」を定期的開催するとともに、講演会の開催など周知を図っている。③令和5年度「成年後見制度推進機関」を社会福祉協議会へ事業委託のうえ設置し専門職を配置。町内における市民後見人の育成と地域ネットワークの構築を、この推進機関を中心に町の高齢福祉・障害福祉部署とも連携して推進し、必要な方を支援していく。



どんぐり  
いとう  
伊藤 英人議員

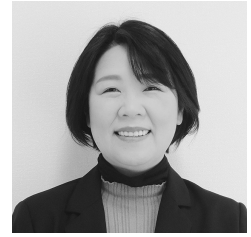
問 町有地取得にともなう JR奥多摩駅ホーム直線化の提案

答 過去にも取り上げられているが、現在も直線化は困難と考える

**質問** 「JR奥多摩駅東側」の土地が、庁舎建設候補地として庁舎建設委員会答申で選定された。委員会内でも提案されているが、この取得予定地とJR線路用地とを活用し、現行ホームを直線形状に改修できないか。JR奥多摩駅は、ホームが湾曲し車両との間に大きな空隙があり危険であり、ワンマン運転化も不安材料。高齢者や大荷物登山・キャンプ客といった乗降客の安全性・利便性が現行のホームでは確保できない。将来的に可能性のある小学校統合では小河内・氷川地区、古里地区の、どちらかの児童の多くは奥多摩駅を利用することとなるだろう。

**町長** ①取得予定地は、答申にあるとおり、新庁舎建設用地として活用。奥多摩駅ホームの湾曲は、過去にも度々採り上げられ現在もホーム直線化は困難と考えるが、JRは現実的な安全対策をしていると認識し、今後も実態に沿った形で、駅ホームの安全性向上に努めていただくのと考えている。②アドベンチャーライン運行や沿線まるごと(株)設立を始め、様々な形で日常的に連携している状況。新庁舎建設では、JRも委員として参画いただき、現在、歩行者用直結通路の実現に向け協議を重ねている。駅ホームに特化した協議や連携はないが、必要な情報共有はしており、様々な面での連携を継続すると認識している。③(株)シェルターは策定中の庁舎建設基本計画の委託業者であり、答申と異なる提案への見解は求めない。





宇宙会  
もりた 森田  
のりこ 紀子議員

問 izzども基本法について

答 (仮)こども家庭センターを開設し、新たにこども計画を策定する

質問 こども基本法が令和4年6月15日に国会で可決成立し、令和5年4月1日に施行された。こども基本法が施行されたことによって、これまで内閣府や厚生労働省などがバラバラに担ってきた子ども関連の情報を一元化することで、縦割り行政を解消し、虐待を防止することが挙げられている。こども基本法が施行されたことによる今後の町の体制整備について。町長 こども基本法で定める基本理念及び地方公共団体の責務、更には、児童福祉法及び母子保健法の改正を踏まえ、今後の当町における体制整備については、既存の子ども家庭支援センターと子育て世代包括支援センターを一体的に運営し、母子保健と児童福祉における一体的な支援体制として、令和6年4月に(仮称)こども家庭センターの開設を予定しており、同センターの開設準備等を含め、令和5年度

福祉保健課子育て推進係内に新たに「こども事業調整係長」を配置した。国は、本年4月にこども家庭庁を設置し、本年末までに既存の3つの大綱(少子化社会対策大綱、子ども・若者育成支援推進大綱、子どもの貧困対策に関する大綱)を「こども大綱」に一元化し、新たに制定するとしている。このこども大綱を勘案して、市町村はこども計画を策定する必要があることから、当町においては、令和6年度に計画の最終年度を迎える「第2期子ども・子育て支援事業計画」を見直し、新たに「こども計画」を策定することを予定している。なお、このこども計画は、既存の計画と同様に、「次世代育成支援行動計画」及び「新・放課後子どもプラン行動計画」の内容も踏まえ、これまで同様に一体的に策定するものである。引き続き着実に事務事業を推進していく。



日本共産党  
おおさわ ゆかり議員  
大澤 由香里

問 1 施政方針について  
2 観光ゴミ対策について

答 1 町独自の支援は難しい  
2 引き続き連携した取組と啓発活動に努める

質問1 新型コロナウイルスの5類移行後、政府の方針どおりにコロナ医療費の自己負担が生じれば、経済的理由で受診をためらい、重症化したり治療を諦めたりする人が出る懸念がある。第8波では、死者の9割が70代以上であった。高齢者が受診控えをしないよう、町が支援するべきだと考えるが、町長の見解は。  
質問2 観光客のごみ対策として、有料のごみ袋を販売し回収する実証実験等、昨年も実施した。若干の効果はあったが、依然としてごみの放置はあり、こうした状況を憂慮する有志が多言語ポスターを作成し貼り出したところ、明らかに効果があつた。周知を工夫し強化すれば、ごみの放置は減らせる。外国人観光客により分かりやすく訴える多言語ポスターが必要。また、町全体で奥多摩町の自然環境を守るというムーブメントを起こし、アピールするために、小・

中学生や自治会を巻き込んだ活動や協定を結んだ多摩大学の学生さんとの協力など、まだまだ工夫できることがあると考える。これからの観光シーズンに向け、町の対策は。  
町長1 町独自に高齢者の方の医療費を助成することは難しい。ワクチンの接種体制を確保し、接種を推進することで5類移行後の不安を少しでも解消できるよう努める。  
町長2 昨年実施した奥多摩町マナーアップ強化キャンペーンで連携、協力していただいた国、東京都、観光協会及び町事業者有志の皆様方のご意見を伺い、引き続き連携した取組を行うとともに、これから迎える観光シーズンに向けて、外国人観光客の皆様が閲覧しやすく言語選択が可能なSNSを含むインターネットの活用も含め、観光協会とともに啓発活動に努める。



議会日誌

1日	2月	三多摩上下水及び道路建設促進協議会第1委員会	7日	町議会第1回定例会
2日	消防団正副団長・分団長新年会	9日	町議会第1回定例会	
4日	西多摩郡町村議会議長会議員研修会	10日	町議会第1回定例会	
7日	特定事案検討委員会	11日	おくたま作文コンクール表彰式講演会	
10日	水川小学校道徳授業地区公開講座	14日	予算特別委員会	
16日	奥多摩町・檜原村議会議員合同研修会	15日	議会運営委員会	
17日	定期総会・行政懇談会	16日	特定事案検討委員会	
18日	健康づくり推進協議会	17日	町議会第1回定例会	
20日	三か町村連絡協議会	20日	奥多摩ふれあい広場フェスティバル実行委員会	
21日	西多摩郡町村長・議長合同会議	23日	奥多摩中学校卒業式	
22日	第55回記念青梅マラソン大会開会式	24日	例月出納検査	
24日	西多摩地域広域行政圏協議会審議会	25日	古里小学校卒業式	
26日	庁舎建設説明会	27日	水川小学校卒業式	
27日	例月出納検査	28日	(一財)奥多摩木村奨学会評議員会	
3日	3月	2日	奥多摩町消防団親睦ゴルフ大会	
3日	町議会第1回定例会	3日	山開き式	
3日	全員協議会	4日	小・中学校教職管理職及び教職員等の辞令伝達式	
		5日	せせらぎの里美術館プレオープンイベント	
		6日	議会だより編集委員会	
		7日	古里小学校入学式	
			水川小学校入学式	
			奥多摩中学校入学式	
			奥多摩町体育協会総合開会式	
			奥多摩町スポーツ表彰式	

【内覧会視察】

○令和5年3月16日  
子育て応援住宅(海沢・小丹波)



※右写真は、海沢の子育て応援住宅

編集後記

一陽来復・寒い冬が過ぎて暖かい春が訪れ、心身ともに緩んだ柔らかな気持ちになります。奥多摩町の雄大な自然を余すことなく堪能できる季節の到来です。政府は5月8日から新型コロナウイルス感染症を5類とし、インフルエンザ等同様の扱いになる事を発表。コロナ禍で社会の生活様式は大きく変化、他人との接触も制限された日々、それを冬に例えると、日本社会はまさにコロナ禍という長い冬を超え、春になり人々の動きが活発になり始めたと思います。奥多摩町においても少しずつ、以前の行事が再開され、議員になって私も初めて参加した小中学校の卒業式、そして入学式。奥多摩の児童生徒の晴れの場に立ちあえたこと、それ自身が感動的でした。特に奥多摩中学校の卒業式では生徒代表の方が「中学校入学と同時にコロナ禍になり：不安と隣合わせの生活だった：」と挨拶の中で話されていました。私も全く同感で深くうなずきました。私達はコロナ禍で多くの事を学び、不安や焦りも学びの一つなのだ痛感しています。国の施策が功を奏し、本当の意味での一陽来復を心から願うばかりです。

相田恵美子 記  
 伊藤 英人 森田 紀子  
 木村 圭 小峰 陽一